

## 令和7年度 千葉県高等学校総合体育大会 サッカーの部 総評

### 【はじめに】

令和7年5月17日（土）、18日（日）、24日（土）、31日（土）6月1日（日）、4日（水）、8日（日）7日間をかけ、千葉県高等学校総合体育大会サッカーの部が行われた。先に行われた1次トーナメントの結果により勝ち上がった16チームが決勝トーナメントにて、全国総体千葉県代表の1枠を争った。

ベスト4進出校は流経大柏、日体大柏、習志野、専修大松戸の4校。準決勝は県立東総運動場、決勝は県立柏の葉公園総合競技場にて行われ、優勝が流経大柏、準優勝が日体大柏という結果で令和7年度千葉県総体の幕が閉じた。優勝した流経大柏は令和7年7月23日（水）から行われる「開け未来の扉 中国総体 2025」に出場し、サッカーの部は26日（土）から福島県にて開催となる。

4年ぶり11回目の全国総体出場となった流経大柏は、昨年度の全国高校サッカー選手権では決勝戦で惜しくもPKで敗退し準優勝している。選手権でも活躍し、U17日本高校サッカー選抜メンバーに選出された⑩安藤の突破力はもちろんのこと、MF④島谷のプレーエリアの広さ、決勝で活躍したFW⑳大藤やFW⑱金子のアタッカー陣には得点力がある。また守備では、準決勝で決定的なピンチを2本止めたGK①藤田、DF③廣瀬とDF⑯大徳が統率を図り、1対1の守備での粘り強さとヘディングでの空中戦は群を抜いていた。

### 【今大会を振り返って】

今大会の決勝トーナメント進出校16校は、公立5校・私立11校であり昨年と同様である。所属リーグとしてはプレミア2校・プリンス1校・県1部6校・2部6校・4部1校であった。千葉県は現在、プレミアEASTに3チーム（流経大柏・市立船橋・柏レイソルU-18）出場している。同リーグに高体連から2チーム出場しているのは千葉県のみである。また、日体大柏はプリンスリーグ2部で現在2位であり、このことから千葉県で頂点に立つことは容易ではないことがわかる。

準決勝のカードは今年度の関東大会Aグループで優勝した習志野と流経大柏と対戦、3年連続千葉県総体を制している市立船橋を破った専修大松戸と日体大柏の対戦となった。県立高校の八千代と船橋芝山はベスト8となった。

準決勝、決勝の3試合の得点合計8点（流経大柏5得点、日体大柏2得点、習志野1得点）を分析すると、コーナーキックが起点となる得点が2点、スループアスで裏に抜け出した得点が2点、クロスからの得点が2点、前線でのプレスからの得点が1点、ドリブル突破からPKでの得点が1点であった。中央からドリブルやパスで崩された失点はほぼない。一方、DFライン背後のボールに対して、GKを含めた連携ミスでの失点やサイドを崩されクロスでの失点がいくつかあった。また、得点の3割を占められている「セッ

トプレー」で攻守共にデザインされたプレーが多かった。具体的な例を挙げると、コーナーキックで複数のパターンを準備しているチーム。相手攻撃の長所を消すためにニアに3人の選手を配置したり、ゾーンマークでスペースを消す戦術を準備したりするチームなどがあった。さらには4バックと3バック（5バック）のフォーメーションを使いこなし試合展開や相手の状況に合わせて可変していくことで、臨機応変に対応できるチームが勝ち上がっている印象を受けた。決勝戦の流経大柏も後半はまさしくそうであり、相手チームの分析の重要性を改めて感じる大会であった。優勝した流経大柏の強度の高いフィジカルとテクニックには目を見張るものがあった。攻撃力もさることながら、連動したプレスを前線から仕掛けボールを回収する伝統のプレースタイル。奪われたとしても2、3人で再びボールを奪い返しにいく姿の裏には、血の滲むような日々トレーニングやチームの共通理解が図られていると感じた。各チーム大会直前までリーグ戦や関東大会が並行して行われており、フィジカルコンディションの面でも選手や関係者を含めた、チームの総合力が試される大会でもあるといえる。

#### 【大会運営について】

令和5年度より、準決勝と決勝は土日の連戦ではなくなり、準決勝を6月4日（水）、決勝を8日（日）の中日を設けての開催となった。昨年度同様、中3日で行うことができたこともあり両チームは強度の高いゲームを展開することができたのではないだろうか。

今大会も各会場で会場設営、補助役役員、応援等で選手をサポートする姿がみられた。そのサポートによってピッチに立った選手は背中を押され、エネルギーに満ち溢れただろう。試合終了後には応援席の仲間や家族、指導者に感謝の言葉を伝える姿がとても印象的であった。サッカーを通して、沢山の関わりが生まれる大会であった。

今大会を無事に終えられたこと、大会の運営に携わっていただいた全ての方々に感謝の意を表すとともに、優勝した流通経済大付属柏高校の全国総体での躍進を期待し、令和7年度千葉県高等学校総合体育大会サッカーの部の総評とさせていただきます。